

平安時代末期の厳島神社の隆盛と神主佐伯景弘

■ 日 時 平成 26 年 2 月 12 日 (水) 14:00~15:30 (受付開始 13:30)

■ 会 場 はつかいち文化ホール さくらぴあ 小ホール

(廿日市市下平良一丁目 11-1, 廿日市市役所前電停から徒歩 10 分

TEL 0829-20-0111)

■ 講 師 県立広島大学 人間文化学部 教授 松井 輝昭

■ 内 容

厳島神社は平安時代末期になると、全国的に脚光を浴びるようになった。平清盛が当神社に厚い信仰を寄せ、多くの都人を誘ったことが大きな理由といえる。しかし、このような歴史の表舞台を誰が作り上げ、それを裏で支えたのかほとんど検討されていない。本講演では、当時の神主佐伯景弘に焦点を当てることで、厳島神社が隆盛に向かう道筋を裏側からたどりたいと思う。

■ 受講料：無料

■ 募集人数：200 人程度

■ 申込方法

往復はがきの往信裏面に①名前、②ふりがな、③郵便番号、④住所、⑤電話番号を、返信表面に受講される方の名前と住所をご記入の上、下の申込先に郵送してください。※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は、県立広島大学宮島学センターの公開講座・公開講演会等の事業以外の目的には使用しません。

■ 申込締切 平成 26 年 1 月 31 日(金)

■ 申込(問合せ)先

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目 1-71


県立広島大学宮島学センター

「宮島学センター公開講座③」係

TEL082-251-9550 (直通)

申込者多数の場合は抽選とします。予めご了承ください。

《往復はがきの例》

	郵便番号	①宮島 花子
宮島	広島市〇区◎町□番△号	②みやじま はなこ
花子		③郵便番号
様		④住所
		広島市◎町□番△号
		⑤電話番号

(返信 表面)

(往信 裏面)

■主 催：県立広島大学 宮島学センター/廿日市市教育委員会/廿日市市生涯学習推進本部